

Rotary Yachiyo



世界に希望を生み出そう



2023-24 年度国際ロータリーテーマ

「世界に希望を生み出そう」

2023-24 年度クラブテーマ

「ロータリーで楽しもう」

週 報 第 2 7 0 5 回

2023年7月7日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：会長幹事所信・役員就任式

担 当：会長・幹事

次回例会 7月14日

テーマ：委員会活動計画発表

担 当：会長・幹事

◆◆◆第2704例会◆◆◆

司会 中島貞好

「奉仕の理想」

会長挨拶

会長 杉 晟

前々回、前回は 2005-6 年度 RID2700 廣畑富雄ガバナー著作、刊行された「ロータリーの心と原点」(2006 年度初版)から抜粋した話をさせていただきました。今回は、会長挨拶として最後ですが、再度抜粋して話をします。内容は「魅力あるロータリーとは」についてです。PG 廣畑富雄の考える【魅力あるロータリーとは】

われわれの先人たち、戦前のロータリアンの方々は、経済界を初めとする各界の指導者でしたが、ロータリーの理念に非常な魅力を感じておられました。昭和10年代、次第に戦時体制が進むなかで、ロータリークラブは解散を余儀なくされました。しかし名前を変え、たとえば例会が木曜日だったら木曜会と名前を変え、集会を続けロータリーの火を守っておられました。私はロータリーの理念には、非常な魅力がある、と思っています。今はその魅力の再発見が必要ではないか、ロータリーの第二世紀に船出する現在、それがぜひ必要ではないかと思っているのです。

ロータリーの魅力とは何か。人によって

考えが違ってもいいかもしれませんが、私はロータリーの魅力は、ロータリーの心と原点を再確認し、ロータリーの基本に返ることによって得られるものだと思います。その観点からいろいろと述べてきましたが、読者の中には、端的に私が何を勧めているのか、それを聞きたい、まとめてもらいたい、という方もあるかもしれません。簡単にまとめるのは難しいことですが、以下そのまとめを書いてみます。

1. ロータリークラブは、知人の集まりではなく、友人の集まりです。友情を大切にしたい。それがすべての基本になると思います。

2. サーヴィスの心を大切にしたい(奉仕、仕え奉ることではない)。サーヴィスの心は、思いやりの心といっても良い。サーヴィスの心は、結果的には仕事の繁栄をもたらす、人の和を得るし、本人の幸福につながります。これはサーヴィスを、ロータリーの基本にすえた、シェルドンの考えであると共に、日本にも同様の考えは古くからあります。(例 情けは人のためならず、積善の家に余慶あり、右手に論語左手に算盤など)

3. 上の(2)と関連するのですが、ロータリーの目的(綱領)と、四つのテストを大事にしたい。これは当然のことと思われるかもしれませんが、一部には、そういう倫理的なことより、ロータリーの主体は外部活動だと誤解の向きもあります。人のためを思う、そこから高い倫理性がもたらされます。四つのテストを事業所や自宅に

掲げている方は多いでしょう。もし日本のロータリアン、世界のロータリアンが、本当に実行に移せば、世の中はずいぶん変わってくることでしょう。

4. 1業種1人の伝統を、出来るだけ大事にしたい。ロータリアンは、その業種の代表であるという考えを大事にし、また異業種間の交流を大事にしたい。今は1業種5人まで、あるいは会員数の10%まで良いというようになりましたが、ロータリーの伝統は1業種1人で、ロータリアンはその業種の代表という考えです。

5. デモクラシー、民主主義を大切にしたい。つまりロータリーは、ピラミッド型の組織ではなく、クラブの自主性を大事にする組織だということです。これをRI元会長のラタクルさんは、ボトムアップと表現されました。クラブが基本です。さらにRIには、人集め金集めの傾向があるのではないか、そういう批判があります。もしそうであれば、ロータリーの魅力を損なうものでしょう。

6. ロータリーの外部活動は、いずれも立派な活動ですが、どんなプログラムも原点に返り、見直すと、スクラップ・アンド・ビルドが必要だと思います。肥大化する一方では困る。肥大化を防ぐには、地区で言えば、ガバナーの責任、クラブで言えば、会長の責任が重い。放置すればそのプログラム担当の方は皆さん熱心であり、各プログラムとも肥大化し大きくなる傾向があります。またロータリーの限界も認識したい。ロータリーは、日本政府や、国連のユネスコやWHOの代わりをするものではありません。

7. この本の初めに書いたように、今混迷の度が深い日本の社会で、ロータリーの心はもっとも必要な心ではないでしょうか。ロータリーの心と原点に立ち返るとき、その存在意義はまことに大きいものがある。われわれはそういう自信を持って、ロータリーの第二の世紀に船出したい、と考えます。

以上で2005-6年度RID2700 廣畑富雄ガバナー著作、刊行された「ロータリーの心と原点」(2006年度初版)から抜粋した話を終わらせていただきます。

会長挨拶は本日で終わります。一年間聞いていただきありがとうございました。この最後の三回の会長挨拶は予定通り、ロータリーに造詣の深い廣畑富雄 PG の話をその締めくくりのようなつもりで皆さんに伝えてきました。

※1(廣畑富雄 PG から伝えられたことの

一部ですが、下記の通り)

ロータリー創設者ポール・ハリスが目指したもの。ロータリーは友情が基本。ポール・ハリスの寛容の精神。ポール・ハリスの「ロータリーとは何か」という自問自答。ロータリアンの大先輩のガバナー月信よりみたロータリー及び奉仕という言葉を意識的に避け、原語の「サーヴィス」(人のためになる行為)で押しとおしておられること。ロータリアンは、サーヴィスの精神を業務上において実行するばかりでなく、私生活に適用し、また社会生活にも適用すべきだと。ロータリーは慈善事業団体ではない。そしてロータリーの魅力とは。

※2(他クラブの会員との会話で最低限知っておくべきことは、下記の通り)

【ポール・ハリス】:ロータリーの創設者であり、1905年にシカゴで最初のロータリークラブを結成した弁護士です。彼は友情や奉仕精神を重んじる人物であり、ロータリーの理念や目的を広めるために尽力しました。

【八千代ロータリークラブ活動計画書】:見開き1ページのロータリーの目的、ロータリーの行動規範、4つのテスト(下に別掲)

【ロータリークラブ】:ロータリーの基本単位であり、さまざまな職業やスキルをもつ人たちが集まり、地域社会や国際社会の問題に対して奉仕活動や人道的活動を行う団体です。現在、世界中に約3万6700のロータリークラブがあり、約120万人の会員が所属しています(2021.5.18 RI公式発表)。

【ロータリー財団】:ロータリーの活動を支援する非営利団体であり、会員や寄付者からの資金を使って、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地元経済の成長、環境の保護などの分野でプロジェクトや奨学金を提供しています。1917年に設立されて以来、約40億ドル以上の資金を活動に投入しています³。

【4つのテスト(Four-Way Test)】:ロータリアンが考えたり言ったりしたりすることが真実かどうかを判断するための基準です。以下の4つの質問にすべて「はい」と答えられるかどうかをテストします(四つは一つとして考える)。

- 真実かどうか(Is it the truth?)

- みんなに公平か(Is it fair to all concerned?)

- 好意と友情を深めるか(Will it build

goodwill and better friendship?)

- みんなのためになるかどうか (Will it be beneficial to all concerned?)

【超我の奉仕 (Service Above Self)】: これはロータリーの第一標語であり、ロータリーの精神を表す言葉です。自分の利益や欲望よりも、社会や人類に奉仕することを目的とすることを意味します。即ち、他人のことを思い遣り他人のために尽くす。

【最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (One Profits Most Who Serves Best)】: これはロータリーの第二標語であり、ロータリーの理念を表す言葉です。

職業人自ら事業の継続的な発展をさせるために、学問的な企業経営の理念と実践のもと、自らが利益を上げることのみに狂奔せず、自分の職業を通して地域社会の人に奉仕するという態度で企業運営をすれば、その見返りに最高の利益がえられること。

【奉仕の理念】: 他人のことを思い遣り他人のために尽くすこと。

【5大奉仕部門】: これはロータリークラブが行う活動やプロジェクトを分類したものであり、以下の5つからなります。

- クラブ奉仕: 会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。

- 職業奉仕: すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てるということです。

- 社会奉仕: すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

- 国際奉仕: 国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

- 青少年奉仕: インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

以上※1・※2は、私が選んだ、ロータリーを理解するために知っておくべきいくつかの文章と言葉です。これらは、ロータリー運動の歴史や哲学に基づいて作られたものであり、ロータリアンにとって大切な指針となっています。

さて、皆さんはロータリアンでない人、

奥さん・子供・友人などからロータリーって何ですかと問われたら何と答えますか。何時でも答えられるように勉強して考えて答えを用意しておいてくださいね。

幹事報告

幹事 中村賢治

・昨日、交換学生の Alexander James Kanar くんが無事成田に到着しました。早朝から出迎えありがとうございました。

・本日会長幹事からの感謝の会を開催します。よろしくお願いします。

日時: 6/30(金) 19時より

場所: 割烹大洋 会費: 6,000円

委員会報告

R財団委員会

委員長 安宅照男

先週、ホリオの寄付を頂いた方で、無記名の方がいましたので、心当たりのある方はお申し出ください。

ハヶ岳ゴルフツアー

齋藤昌宏会員

参加者の方は 14:30 出発です。よろしくお願い致します。

お祝い

夫人誕生日: 三井桃子様

例会行事 年次総括発表

会長 杉 晟



2022-23年度 R I 会長ジェニファー E. ジョーンズ氏のテーマは

「IMAGINE ROTARY」(イマジン・ロータリー)です。世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力と繋がりを生かすよ

う呼びかけていました。

第 2790 地区ガバナー小倉純夫氏の地区スローガンは、「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」です。ロータリー活動によって培われた仲間同士の信頼・友情(fellowship)を繋ぎ、千葉という地域から世界を少しずつでも変える奉仕活動(service)を起こしていこうという呼びかけ、月信では常にこのスローガンに沿って発信されていました。

いまは、コロナ禍の先の見えない状況を脱し、with コロナから after コロナに移行しています。このようなときこそ改めて、ロータリーの使命や存在価値(Purpose)、55年の歴史ある八千代ロータリークラブの強み、弱み、奉仕(サーヴィス)のあり方などをアンケート調査なども含めみんなで考えられたと思っています。また、今持っている以上にロータリー活動(特に例会)に関心を持ち、仲間との繋がりを生かして親睦と奉仕に一層の活動的なクラブになるため、八千代ロータリークラブ「ビジョン 2030」に沿って、今年度のテーマ、例会を楽しみながらロータリーを学び、語り、奉仕を実践していこう。キーワードは「Think(よく考えて)」のもとでみんなと共に活動してきました。

2022-23 年度八千代ロータリークラブ例会日程については、新型コロナの影響によるクリスマス家族会の中止以外はガバナー公式訪問、年次総会、親睦旅行など概ね滞りなく行われました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

2022.8.26 小倉ガバナー公式訪問時はクラブ協議会がありました。小倉ガバナーの卓話の後にクラブ協議会を開催しクラブ研修会としました。飯生高一郎リーダーの司会で、サポーター宮田慎吾会員、副リーダー浅野正敏会員、リーダー飯生高一郎会員に各人からロータリーの思いを語っていただきました。その後に、小倉ガバナーが講評迄していただき大変盛り上がりしました。

SAA 及び統括委員会、戦略計画委員会、クラブ研修会、含め 19 委員会委員長からは、去る 6 月 16 日、23 日の二日間で活動内容報告がありました。みなさん限られた時間の中での活動ありがとうございました。監査と会計は後日をお願いすることになっております。

例会出席率については、最高は 94 % (12 月 16 日忘年会)、2 番目は 91.84 % (7 月 1 日会長所信表明)、最低は 61.36 % (10 月 9 日地区大会)、平均 85.85 %。90 % 以上の例会は 7 回ありました。例会は十分機能していたと思います。SAA の皆さんご苦労様でした。

八千代クラブの更なる基盤強化として、今年度委員会活動に戦略計画委員会、クラブ研修会を設置しました。戦略計画委員会は「ビジョン 2030」の実現性の検証をお願いしました。活動は、例会後に開催していただくことを基本にしてもらいました。報告内容は先日発表の通りです。

クラブ研修会は、「ビジョン 2030」に沿って設置しました。飯生リーダー以下副リーダー、サポーターの皆さんには大変なご苦労を掛けました。中村幹事と研修会の皆さんで夜間例会でのグループ炉辺会談を実施していただき少し明かりが見える活動になり関係者の皆さんに感謝しております。計画段階で、クラブ研修会のメンバーと趣旨その他をもっとよく打ち合わせたうえでスタートすべきであったと反省しております。いずれの委員会も、クラブ協議会を活用できたことは良かったと思っています。

会員増強については、突然の会員減が発生しましたが、先日の発表の通り 2022.9.20 花島文成氏、2023.3.17 濱野徹也氏、2023.6.9 納富修氏、伊藤勝巳氏の 4 名が入会され今後は一緒にロータリーを学んでいきたいと思っています。目標としていた 55 名になり、市原会員増強委員長に深く感謝しております。

今回の例会の特徴は、クラブ協議会を 7 回設定したことです。私の意向に応えて中村幹事が設定してくれたこと大変ありがたかったです。統括委員長の活動計画発表、小倉ガバナー公式訪問の日も前述のようにクラブ研修会の発表と小倉ガバナーの講評までいただいたこと、クラブ研修会開催、戦略計画委員会開催、炉辺会談開催などいろいろなイベントに使うことができました。

青少年奉仕委員会では、今年は派遣時期の異なる 2 組の青少年交換留学生に対応するために、青少年交換派遣認証書授与式 & 歓送会までの毎月のオリエンテ

ーションに参加するなど大変なスケジュールをこなしていただき菊川委員長にはご苦勞を掛けました。ありがとうございました。

残念だったことは二つあります。一つは、昨年 10 月 24 日世界ポリオデー「あと少し」キャンペーンに、「END POLIO NOW」の T シャツを着て、地区と一体になったのキャンペーンに参加が出来なかったこと。地区とクラブは一体と考えています。地区がなければクラブはないはずでしょう。私がもう少し皆さんに協力をお願いすればよかったと反省しています。

二つ目は、私の例会欠席が3度あったことです。

・2022.9.16 妻の脳神経外科半年に1回の MRL 検査と診察に同行

・2022.10.14 肺炎入院

・2023.1.20 気管支内視鏡検査入院

この時は中村幹事の対応が良く、飯生副会長と連携してやり切ってくれました。感謝しております。ありがとうございました。

次に、八千代ロータリークラブ会長は、特に6月に入ってから八千代商工会議所、八千代観光協会などからの招待、また帝国ホテルで開かれる東京からパリへのタイトルで、フランスオリンピックに向けてのキックオフパーティにロータリークラブ会長の肩書で参加可能(大使、大使館員、文化人の参加のため SP がつく)等など、ロータリアンは十分なステイタスがあります。このことを仕事に、私生活に、また社会生活にも自覚して行動してください。ロータリー活動とは別ですが、ステイタスについて関連があることがありました。2023.3.4は上代修二会員の旭日小綬章の感謝の会が開催されました。代表幹事、八千代ロータリークラブ会長杉晟、幹事君塚欣也会員、幹事稲山雅治会員で会を運営させていただき光榮に思っております。そして、クラブメンバー上代修二氏の叙勲は正に八千代ロータリークラブの誇りであると考えております。

最後になりますが昨年10月から体調がすぐれない中、いつも私の体調を気にかけながら例会に、イベントに常に前向きに対応していただいた中村幹事に心からありがとう、感謝しております。みなさんも感じていると思いますが、12グループ会長・幹事会(意見交換及び懇親会)は任期中

7回あったのですが、6 クラブの会長・幹事からは中村幹事あつての杉会長だねとよく言われていました。また絶妙のコンビだねとも言われてきました。親子ほどの年齢差、ジェネレーションギャップを乗り越えさせてくれた中村幹事に改めて感謝しております。

また、事務局を一人で、いやな顔も見せずにやってくれた山口美樹さんに感謝しております。

最後の最後ですが、リハビリ中の妻といろいろと支えてくれた長女に感謝しております。

最後の最後の最後ですが、例会の場としてパッソノヴィータ大広間を提供いただいている(株)サンカジロ 社長 上代会員には大変感謝しております。

最後の最後の最後の最後ですが、クラブの皆さんに、この一年間のご協力に感謝して 2022-23 年度の活動の総括とします。

幹事 中村賢治



皆様1年間大変お世話になりました。頼りない幹事という事もあつて心配されたのか会員の皆様が良く動いて頂いた様に感じました。とても感謝しております。特に SAA の皆様にはコロナ対策として検温、マイクの消毒等安全に例会が進められるように考えていただきありがとうございました。来ていただいたお客様は、安全対策にとっても驚いていました。

親睦委員会活動の皆様にはここ数年コロナの為に中止になっていたイベントを全て行い色々と考えて準備していただきありがとうございました。

池田委員長、親睦旅行では本年度最大の幹事の仕事がまわっているとは思いませんでした・・・池田委員長これがなければ満点でした、でも楽しい親睦旅行ありがとうございました。

そして委員長の皆様会員の皆様のご

協力のお陰で本年度は、ほぼスケジュール通りに行えました事、皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

杉会長におかれましては体調のすぐれない中、会長という大役を1年間お疲れ様でした。

私自身が幹事職を通じて気づいた事が2点程御座いました。1点はガバナー公式訪問時にクラブの問題点、実状を書いていて問題点が出なく、他クラブが抱える課題が全てクリアされている素晴らしいクラブだと感じました。例えばここ数年会員数が常に一定しており退会者がほぼなく生涯会員を守られていて、出席率平均が80%を超えているクラブだと杉会長と胸を張って小倉ガバナーに伝えました。これらを維持出来ているのはベテラン会員の指導のおかげだと思いました。それと2点目は、ある時に他クラブの事務局を調べる事になり会長、幹事会の時に12グループの方々に聞いて分かった事が、事務局との関係が悪いクラブは問題点が多く会員数も低下していて、事務局を大事にしているクラブは運営が安定している事に気づきました。八千代クラブは事務局の山口さんの人柄もあって上手く運営出来ているのだと思います。クラブの唯一の女性ですのでこれからも事務局を大事にして行く事が良いクラブ運営に繋がるのかもしれませんが。山口さんこれからもよろしくお願いします。

最後になりますが本年度同様に君塚、稲山年度もどうか盛り立てて頂ける様お願い申し上げ幹事からの総括とさせていただきます。

皆様 1年間ありがとうございました。

花束贈呈

パソスタッフ・事務局

1年間ありがとうございました。

青少年交換学生来日



Alexander James Kanarくんが6/29、無事に成田空港に到着しました。

～ニコニコBOX～

¥25,000-

☆皆さん1年間ご協力

有難うございました。杉

☆杉会長、中村幹事

1年間お疲れ様でした。

三井・遠藤・君塚・日下部・花島・鈴木植村・山崎・浅野正幸・飯田・杉山・風間齋藤敏夫・宮田

～友愛BOX～

¥45,000-

☆皆さま1年間お世話になりました。中村

☆妻にプレゼント有難うございました。素敵な花が届くと今年度も終わりです。三井

☆杉会長、中村幹事

1年間有難うございました

小村・飯生・池田・葉山・稲山・浅野正敏安宅・櫻井・市原・齋藤昌宏・佐野・宮野永田・山浦・松戸・中島仁・江頭・佐久間佐々木・朝戸・上代

☆浅野正敏会員

退院おめでとうございます。山崎

☆早朝からアレックス君のお迎えにお越し頂き、ありがとうございました。菊川

☆毎週高い所から携帯の電源を切れ!だのつけろ!だの、立て!だの座れ!だのと失礼致しました。来週からは佐久間さんが担当です。中島貞好

☆遅刻しました。稲山

近 隣 ク ラ ブ 例 会 日		例 会 場						
火 曜 日	四 街 道 R . C	四 街 道 ゴ ル フ ク ラ ブ	6 / 30	会 員 総 数 5 5	出 席 対 象 者 5 1	出 席 者 4 3	%	84.31
火 曜 日	八 千 代 中 央 R . C	ウ ィ シ ュ ト ン ホ テ ル ・ ユ ー カ リ						
水 曜 日	習 志 野 R . C	習 志 野 商 工 会 議 所 会 館						
水 曜 日	佐 倉 中 央 R . C	第 1 ウ ィ シ ュ ト ン ホ テ ル ・ ユ ー カ リ 第 3 夜 間 オ リ ベ ー ト						
木 曜 日	佐 倉 R . C	フ ラ ン ス 料 理 シ ョ ・ ム ラ						
木 曜 日	習 志 野 中 央 R . C	習 志 野 商 工 会 議 所 会 館	7 月 の ロ ー タ リ ー レ ー ト 1 ド ル ￥ 1 4 5 -					

■クラブ広報委員会 委員長:飯田明彦 副委員長:菊川秀明

■出席委員長 花島文成※欠席の際は必ず火曜日迄に出席委員長に連絡して下さい

■例会日 金曜日 12:30～13:30

■例会場 パソ・ノヴィータ (〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F FAX047-450-0050)